

酸性雨等森林衰退モニタリング調査

平成 12 年度～ 16 年度（国委託）

島田博匡

酸性雨等の影響による森林衰退の実態を把握するため、国の委託を受け、県内の森林を対象とするモニタリング調査を実施した。

1. 調査地点

現地調査（1箇所）

調査区：尾鷲

調査地：尾鷲

主要樹種：ヒノキ

林齢：45年生

2. 調査項目及び調査内容

調査対象地内で 1.0ha 以上の面積を有する一様な林分において、半径 17.85m（面積 0.1ha）の円形調査地を設定し、次の項目について調査した。

- （1）概況調査：標高、傾斜方位、傾斜角度、地質、地位級、施業歴、林齢、林型の調査
- （2）毎木調査：上層木の樹高、胸高直径の測定と、最大樹高、最大胸高直径、平均樹高、平均胸高直径、材積、立木密度の算定
- （3）植生調査：樹高 1.3m 以下の蘚苔類を除く維管束植物について、種名と優占度の調査
- （4）衰退度調査：樹冠写真の撮影、地上部（樹勢、樹形、梢端密度、枝の伸長量、葉形等）の目視による調査
- （5）土壌調査：A₀層量の測定、A₀・表層土壌（0～5cm）の化学分析用試料採取及び提供

3. 調査結果

採取した土壌試料は分析のため指定機関に送付した。調査結果については取りまとめ後、林野庁に報告した。